



## 子育て応援賞とは？

子育てしやすい環境づくりに功績のあった個人・団体・企業を表彰するものです。平成29年12月に創設され、昨年度は「ひばりワクワク広場実行委員会」のみなさんの皆さんがあれました。



第5回子育て応援賞受賞者  
片桐和江さん

2月8日火曜日、役場会議室で第5回子育て応援賞の表彰状授与式が行われました。今年度受賞者の片桐さんは『人形劇サークルむぎの穂』『ひばりワクワク広場実行委員会』『食の研究室えびの会』などの団体に所属し『育児ネットめむろ』では2代目代表を務めるなど、今まで精力的に活動され、これまで多くの子ども達や子育て中の保護者の皆さんと関わってきました。

## 子ども達が喜ぶことを

今回の受賞に際し、片桐さんは「昨年度は、ひばりワクワク広場実行委員会の授賞式に参加したが、このように自分が賞をいただくのは照れ臭い」と一言。活動を始めたきっかけは、平成元年の芽室町図書館開館に合わせて人形劇サークルを立ち上げたことだそうで「自分の子どもが喜んでくれるので、もっと見せてあげたいと思った」と当時を振り返ります。活動を続けていて良かったことについて「小さい頃に関わった子ども達や保護者が覚えていてくれて、声をかけてもらえるのが嬉しい。自分が元気でいる」と笑顔で話されました。

## 活動の継承へ：

今までの活動について「子育てでは援助する側がないないと難しい。諸先輩を見習い、人と人を繋げる活動ができた。連携できる人がいて良かつた」と振り返り、今後については「最近は（自分自身が）今までやれるのかな、という思いもある。子どもを取り巻く社会的な環境や保護者の考え方も変わってきている。世代交代を促しながら、できることを継続していきたい」とコメント。団体での活動について「誘われて入って長く活動される方もいる。子育てが終わった方も子どもの成長に関わるチャンスがある」と魅力を語っていただきました。

あつまれ！18,160人！

# まちのうごき

2月7~9、14日

め むろこうこう ねんせい  
芽室高校2年生

こうれいしゃかい い ちいき げんじょう しえん まな  
高齢社会を生きる ~地域の現状と支援を学ぶ~



こうれいしゃ し えん か しょくいん こ う し め むろこうこう  
高齢者支援課職員が講師となり、芽室高校2  
ねんせい たい こうれいしゃ かい い だい じゅぎょう  
年生に対し、「高齢社会を生きる」と題して授業  
おこな まち こうれい か げんじょう し す  
が行われました。町の高齢化の現状を知り、住  
み慣れたまちで高齢になってしまっても安心して生活し  
ていくためにはどうしたらよいか、座学だけでは  
なく、ワークシートで課題と解決策を考え発  
表したり、高齢になった時の疑似体験を行うなど実践的な学びになったようです。

こうし しょくいん さ ょう じゅぎょう か  
講師の職員からは「今日の授業のことをご家  
族やお友だちとぜひ話題にしてみてくださいね」と将来への願いを込めて語りかけられました。

2月25日

め むろちょう ひろ お ちょう  
芽室町一広尾町

が こ う きゅうしょくこ うりゅう  
うみとやまの学校給食交流



ひろ お ちょう ゆう こう と し てい い けい しゅう ねん き ねん じ ぎょう  
広尾町との友好都市提携35周年記念事業として、広尾町のたらを使用した「たらのチゲ汁」、  
め むろちょう し ょう じ る  
芽室町のごぼう、じゃがいも、さやいんげんを使用した「ごぼう入り肉じゃが」が両町の小中学校の給食で提供されました。子どもたちからは「おいしかった！毎年食べたい！」との声があがってきました。

とうじつ ひろ お ちょう ぎ よ ぎょう め むろちょう の う ぎょう せ い さん  
当日は、広尾町の漁業と芽室町の農業の生産現場や携わる人からのメッセージ等の動画も給食時に放映しました。両町の交流を改めて知つてもらう機会となりました。

# みんなのひるば

1月29日

ほくめい よう ちえん  
北明やまざと幼稚園

だい かいしょくいく  
第16回食育コンテスト 文部科学大臣賞



ほくめい よう ちえん  
北明やまざと幼稚園が行っている『やまざと食農プロジェクト』の取り組みが、第16回食育コンテストで

もんぶ か がくだいじんしょう じゆしょう  
『文部科学大臣賞』を受賞しました。

はたけ じよそう つち お  
このプロジェクトでは畠の除草・土起こし、園内の牧場でお世話をしている動物のたい肥を利用した土づくり、収穫後の作物を使ったピザや味噌作りといった取り組み全てに子ども達が関わっているそうです。

えんちょう むらっぱせんせい たんとう やまとせんせい  
園長の村椿先生、担当の山田先生からは「これまでの取り組みが認められ、うれしく思う。畠はまだ開拓したばかりなので、土の栄養管理などをしっかりし、より良いものを作れる環境を整えたい」とコメントをいただきました。

2月23日

じょう  
メムロスキー場

ほっかいどう だい かいと かち たいかい  
スノーデュアスロン北海道2021第2回十勝めむろ大会



じょう  
メムロスキー場で「スノーデュアスロン北海道2021第2回十勝めむろ大会」(主催:NPO法  
じんはな こうえん め むろちょう かいさい  
人花サイクリングクラブ 後援:芽室町)が開催されました。昨年、メムロスキー場では初めて開催されたこの大会は、トライアスロンならぬ「デュアスロン」ということでクロスカントリースキーとファットバイクの二つの競技を組み合わせて競います。

ねんだい せいべつ にん せんしゅ さん か  
年代、性別さまざま17人の選手が参加し、とってもハードなレースをみごとに完走していました。雪国のハンデを逆手にとったこの競技から、今後も目が離せません。

# 芽室大火を忘れない



▲火の手があがる中心市街地

明、芽室町の中心市街地で大規模な火災が発生しました。87戸が全焼、40人が被災し、一晩にしで中心市街地は焼け野原となりました。後に「芽室大火」と呼ばれるこの災害を、当時を知る方にお聞きしました。



▲取材にご協力いただいた青山忠義さん(右)、妻の美智子さん

発災時、就寝中だった青山忠義さんはサイレンの音で目を覚ました。當時家を出ていましたが、その時点では火事の規模も分からず、ボヤだと思つたそうです。



▲昭和39年3月22日未明、芽室町の中心市街地で大火が発生した。これが中心市街地は一面の焼け野原となつてしまった。青山さんはこの災害を、当時を知る方にお聞きしました。

やがて周囲の様子がおかしいことに気がつき外を確認すると、出火場所から南に広がつた火が東側に向かおうとしているところでした。青山さんの家には翌月に出産を控えた妻の美智子さんや同居の親族があり、「先祖の位牌を持ち出すのがやつとだった」と、着の身着のまま避難しました。

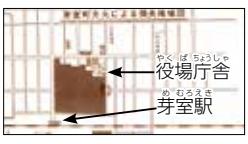
最大風速20mともいわれる当日の強風もあり、飛び火で3

「陸上自衛隊の方々が来て、焼け跡の残骸を片付けてくれた。何もかも焼けてしまつたため遮るものもなく、呆気なく片付いてしまつた」



▲溶けて固まつた鍋

心市街地は一面の焼け野原となつてしまった。青山さんはこの家と商店も全焼し、焼け跡からは溶けて固まつた鍋だけが出てきたそうです。



▲復興時の記録資料より、焼失地域図

町は甚大な被害を受けました。夜が明けると、中市街地は一面の焼け野原となつてしまった。青山さんはこの災害を、当時を知る方にお聞きしました。

今できることを考えるときが来ています。芽室大火を忘れない。当時を風化させないために、今できることを考えるときが来ています。



▲3か月後にはここまで復興を見せた

# 歴史探訪

その81

芽室中学校

(芽室町東六条南三丁目一番地)

## 歴史探訪

このまち大好き!

昭和二十二年（一九四七）年の新学制発足時、町内の中学校は分校や小学校併置も含めて、芽室、上美生、祥栄、北伏古、土狩、上美生、祥栄、北明、平和、明正の九校だったが、翌二十三年に渋山正を加えて十校となつた。

さて、芽室中学校だが、同二十二年四月三十日、元青年学校の三教室と芽室小学校の四教室を使い七学級編成で開校した。そして、直ちに、現・総合体育館や温水プールの一帯を敷地として、新校舎の建設に着手した。工事は三期に分けて進められ、体育館の建設を含め全工事が完了したのは同二十四（一九四九）年十二月であった。

しかし、時代の推移と共に、中学校の生徒数の減少が続く一方、教育環境条件等の整備が求められる中で、町は小規模中学校の統合により課題の解決を図るべく、各地区、学校別に地域懇談会や協議会を重ねていった。そして、同四十六（一九七〇）年三月に開校した。次いで

（一九七一）年四月一日、新しい芽室中学校は芽室、新芽室中学校の校舎は、元帝国織維芽室工場跡の町有地に三か年計画で建設されることになり、同四十六（一九七一）年に着工された。

こうして、芽室中学校は同四十八（一九七二）年五月に開校した。次いで新芽室中学校は芽室、新芽室中学校の対等合併の統合校として開校し、校旗や校歌も一新された。

そこで、この過程で、上美生中学校は新芽室中学校の校舎は、元帝国織維芽室工場跡の町有地に三か年計画で建設されること、また上美生は一市街地新しく開校する新芽室中学校は対等合併であることが統合の基本条件であった。

なお、この過程で、上美生中学校は芽室中学校から遠いことや三学級を維持できること、また上美生は一市街地新しく開校する新芽室中学校は対等合併であることが統合の基本条件であつた。

【引用・参考文献】  
芽室中学校三十五年のあゆみ  
芽室中学校開校十周年記念美行委員会  
昭和五十七年九月発行

【芽室町百年史】  
芽室町役場  
平成十二年発行